

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年3月2日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2773800889
法人名	特定非営利活動法人 すみれ
事業所名	グループホームすみれ
所在地	羽曳野市野々上2丁目31番2号 (電話) 072-937-8290

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 21年 2月 12日

【情報提供票より】(平成 21年 1月 26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 4月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	13人	常勤 8人, 非常勤 5人, 常勤換算	4.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋一部鉄骨 造り		
	3階建ての	1階 ~	3階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	31,500円
敷金	有()円	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200円	昼食 300円
	夕食	450円	おやつ 50円
	または1日当たり 1,000円		

(4) 利用者の概要 (平成 21年 1月 26日現在)

利用者人数	9名	男性 0名	女性 9名
要介護1	0名	要介護2	2名
要介護3	3名	要介護4	1名
要介護5	3名	要支援2	0名
年齢	平均 86歳	最低 81歳	最高 95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	貴志クリニック、くまざき歯科
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

民家を改修したエレベーター付3階建ての家庭的な雰囲気のホームです。長年福祉の現場を経験した理事長が、認知症高齢者により安堵感のある生活をしてほしいとの思いから、NPO法人として6年前に開設しました。人間の寿命を尊重して笑顔を沢山いきいきと、薬を少なめに毎晩ゆっくり休んでもらえる事を目標に取り組みんでいます。重度化や看取りについては、家族や医師、職員の意見を聞いて慎重に取り組み、ホーム内での看取りも経験しました。食事は毎食共ホームで調理し、利用者の希望も取り入れています。利用者はゆっくりでもできることへの役割を担い、穏やかに生活しています。職員の研修も積極的で、毎月開催される内部研修に持ち回りで職員が講師を務めたり、毎年、全国認知症グループホーム協会の全国大会に職員数名が参加したりしています。家族や地域の方々のボランティアも定着しています。地域行事への相互の参加や日頃の付き合いも自然な形で進められており、地域社会に密着しているホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	自己評価、外部評価の意義は理事長をはじめ、管理者や職員も良く理解しています。前回の外部評価結果については、家族や職員にも報告し、具体的な検討を行い、改善に取り組んでいます。入浴回数についても話し合いを重ねています。また、玄関の施錠についても家族会等で討議しています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価については管理者が中心に作成し、職員の意見を反映しています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の規定を作成し、2ヶ月に1回市役所の会議室を借りて開催しています。家族の代表、市の職員、民生委員、介護相談員、知見を有する者、法人理事長、管理者、事務長の出席があり、ホームの日々の活動や職員の取り組みを報告し、評価やアドバイスをいただいています。運営推進会議の結果は、職員の全体会議で報告を行い、課題を検討して可能な限りサービスに生かしています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月1回、請求書や立替金明細と共に、利用者一人ひとりの近況を写真とメッセージ入りで送付しています。年4回、法人全体の活動状況等の紹介をわかりやすく編集し、『すみれ便り』として送付しています。年1回、利用者のホームでの生活状況をビデオレターとして家族に送付しています。家族が面会に来られた時は、近況を報告し、相談もしています。年に1回は家族会を開催する等、家族から意見等を聞く機会を設けています。年数回、利用者や家族が共に参加できる温泉施設での入浴・食事会を開催し、楽しみながら気軽に話ができる機会を作っています。家族から食事内容や上靴の交換等の希望をいただきサービスに反映しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の一員としてホームで町内会に加入しています。回ってきた回覧板を利用者と一緒に次のお宅へ回す等、日常的な交流をしています。自治会、民生委員から誘いをいただき、町内会の盆踊り、地域フェスタ、市の交流会等に参加しています。理事長が地域で『グループホームについて』や『認知症介護について』等のテーマで講演する機会もありました。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『年をとっても、たとえ認知症になっても、お互いに個性豊かに生き甲斐を感じて生きていけるよう、地域の人と協力し合って、地域に貢献すること』を法人独自の理念として掲げています。さらに運営理念として『日々の時間の流れを大切に、生き生き元気のある暮らしを育む』を作り上げています。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念はホームの玄関、エレベーター、リビングに掲示しています。理念は会議等で確認し合い、日々の仕事の中で実践しています。職員は常に利用者と共に明るく、いきいき過ごす事を心がけています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域の一員として町内会に加入しています。回ってきた回覧板を利用者と一緒に、次のお宅へ回す等日常的な交流をしています。自治会、民生委員からの誘いをいただき、町内会の盆踊り、地域フェスタ、市の交流会等に参加しています。法人理事長が地域で『グループホームについて』や『認知症介護について』等のテーマで講演する機会が有りました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の意義は理事長をはじめ、管理者や職員も良く理解しています。前回の外部評価結果については、家族や職員にも報告や具体的な検討を行い、改善に取り組んでいます。今回の自己評価についても管理者が中心に作成し、職員の意見を反映しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を作成しています。運営推進会議は2ヶ月に1回、市役所の会議室を借りて開催しています。家族の代表、市の職員、民生委員、介護相談員、知見を有する者、理事長、管理者、事務長の出席があり、ホームの日々の活動や職員の取り組みを報告し、評価やアドバイスをいただいています。運営推進会議の結果は職員の全体会議で報告し、課題を検討して可能な限りサービスに生かしています。会議参加者より、秋祭りへの参加を提案いただき、利用者と共に参加しました。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日頃から相談できる窓口は確保されています。1ヶ月に1回、市主催のグループホーム部会があり、困難なケースや介護計画書の作成内容等、相談をする機会があります。また月に1回、介護相談員の来訪があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回、請求書、立替金明細送付時に、利用者毎に近況の写真と職員からのメッセージを記入し『すみれ便り』として送付し、家族の安心につなげています。また、年4回、法人全体の活動状況、職員紹介、ボランティア活動状況、行事等の紹介をわかりやすく編集した『すみれ便り』を送付しています。また、年1回、利用者のホームでの生活状況をビデオレターとして家族に送付しています。家族が面会に来られた時は近況を報告し、相談もしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	活用は少ないようですが、ホーム内に意見箱を設置しています。2ヶ月に1回の運営推進会議の参加、年に1回の家族会の開催等、家族から意見等を聞く機会を設けています。年数回、利用者と共に家族が参加できる温泉施設での入浴・食事会を開催し、楽しみながら気軽に話ができる機会を作っています。家族より食事内容や利用者の上靴交換等、希望をいただきサービスに反映しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職を最小限にするため、働きやすくやりがいのある職場作りを心がけています。職員の研修には特に注力し、グループホームの意義や役割を共有し、モチベーションの向上に努めています。職員の異動時には『すみれ便り』に掲載し、家族の来訪時にも紹介しています。認知症の利用者にとって馴染みの関係は大切であり、今後とも離職者を最小限に抑えるよう努力することが期待されます。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は年間計画が作成され、毎月1回開催されています。講師は外部から招くこともありますが、職員全員が持ち回りで講師を行うなど、モチベーションを高めています。夜間に開催し、職員全員が参加できる配慮をしています。外部研修は大阪認知症高齢者グループホーム協議会からの案内があり、また全国認知症グループホーム協会の全国大会に毎年数名参加しています。市の研修会、各種団体の研修会にも積極的に参加しています。外部研修は全ての職員に、その職務に相応しい機会が与えられています。内部、外部研修とも全員が研修報告書を提出しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入しています。羽曳野市のグループホーム部会にも参加しており、7事業所で月1回部会を開催し、職員交流やサービスの質の向上を検討する機会になっています。介護職養成研修の実習生も受け入れ、指導する事で職員自身の研修に役立っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ここ2年間ほどは新規の利用者がいない状況です。新規利用者には入居前に気軽に見学してもらい、入居時はできるだけ在宅での生活に近い環境作りを行い、家具等身の回り品は使い慣れたものや気に入っているもの等を持ち込んでもらっています。入居後は不安を軽減するために個別対応の時間を増やし、徐々にホームに馴染めるよう工夫しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごすことを大切にし、利用者一人ひとりの能力を発揮できる機会を多くしています。リビングの壁にその日の家事担当を掲示し、過度の負担にならないよう職員と共に活動しています。掃除の仕方、らっきょ・梅・千枚漬け等の漬け方、野菜のきり方、味付けなど教わりながら、お互いに支えあう関係作りを目指しています。テレビを見ながらの世間話や日常の会話を楽しみ、喜怒哀楽のある生活を利用者と共にしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時には、それまでの経緯や利用者の状況を家族や関係者から情報を得て記述しています。また、日々の関わりの中で利用者一人ひとりに声かけを行い、利用者の思いや希望について把握することに努めています。トイレに座位をサポートするテーブルを設置したり、椅子にかけた時の足置き台を特注したり、本人本位の対応をしているケースがあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントシートにより、利用者の生活歴やライフスタイル、身体、生活能力等を聞き取り、希望に添った生活が送れるよう、家族や関係者と相談した介護計画書を作成しています。作成した介護計画書には利用者や家族による同意のサインを得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書は、全職員が参加するカンファレンスでの意見等を参考にして、定期的に6ヶ月に一度は見直しを実施しています。利用者の状態に変化が生じたときは、その都度見直しを行い、変化に対応した介護計画書を作成し、利用者や家族の同意を得ています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の必要な物品購入や急な受診等、家族の対応が困難な時には柔軟に支援しています。介護相談は随時対応しています。地域の要望で、介護者教室の開催や認知症についての講演等にも対応しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望する、かかりつけ医の定期的な往診があります。内科、整形外科、皮膚科、眼科、歯科、心療内科の往診があります。クリニックと歯科の2ヶ所の医院を協力医療機関としています。主治医の往診時には職員が利用者の日頃の状況を説明し、必要に応じて薬の見直しなどしてもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針や意思確認書を準備し、主治医の説明を家族と職員と一緒に受けながら、方針の共有と確認を進めています。これまでも看取りを経験しています。法人内の別のホームと看取りについての相互研修を実施してきました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	毎月の内部研修を通じて、個人情報の保護やプライバシーの確保を全職員が共有しています。排泄、入浴、更衣は個別対応で、個室の入室にはノックと声かけを必ず行っています。個人ケースファイルは戸付の棚に収納し、施設外への持ち出しは原則禁止です。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを尊重し、急がすことなく支援しています。ホームとしての予定はありますが、利用者の意向に合わせて見守り中心の支援をしています。利用者からの声かけや表情、身振りを見逃さない対応を心がけています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は業者から納入していますが、週2回程度、近所のスーパーに利用者と同行して購入するものもあります。3食共にホームで調理を行い、できたての食事を提供しています。利用者も野菜の下ごしらえや味付けに参加しています。週3日の昼・夜は利用者の希望を入れたメニューで提供しています。朝食はパンかお粥の選択ができます。職員も共に同じ食事を摂りながら、必要な利用者には介助の支援をしています。食事の後片付けは利用者も一緒にしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は利用者一人ひとりの体調や状態を見ながら、週2～3回入浴できるようにしています。希望すれば毎日の入浴も可能です。入浴用リフトを設置し、利用者は安心して入浴できる工夫をしています。	○	入浴については、週3回以上の入浴ができるよう取り組むことが求められます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を本人や家族から聞き取り、日常生活での家事活動や、好きな事を全職員が見出す事に努めています、利用者がそれぞれの役割や、楽しみごとを持って、生き生きとした生活ができるよう支援しています。役割当番を決めて、リビングの壁に表示し、掃除、食器洗い、食器拭き、花の水やり、洗濯物の整理等をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	年間の行事計画に沿った花見や秋のお出かけ、ドライブ等を楽しんでいます。年2～3回は家族も同伴して、温泉施設での日帰り入浴や食事会も楽しんでいます。日常的には、利用者の希望により、近くのお寺や公園への散歩やスーパーへの買い物に同行しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームは民家を購入して改修したため、玄関が比較的交通量の多い道路沿いにあり、歩道が無いので、通常はやむなく施錠をしています。家族会で鍵をかけることので了承を得ています。利用者が外出を希望するときは、職員が必ず付き添い、サポートしています。	○	ホームの玄関前は交通量の多い道路に面していますが、日中職員体制が整っている時間帯には安全に十分配慮しながら開錠することが求められます。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時対応マニュアルを作成しています。災害時の避難訓練は、利用者も含めて定期的実施しています。年1回は消防署の協力も得て訓練をしています。秋には消火器の使い方、緊急電話のかけ方を訓練しました。また、必要な非常用飲料水、食料、オムツ等の備蓄があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている	食事や水分の摂取量は、利用者一人ひとり毎 日把握して支援しています。提供する食事内 容については、およそカロリー計算がされて います。また食材業者から食事内容について アドバイスを得ています。旬の野菜を中心 にして、バランスよい献立を心がけています。 食べやすくするため、とろみをつける、食材 を小さく切る等工夫をしています。ホーム手 作りのカスピ海ヨーグルトが重宝されていま す。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居 心地よく過ごせるような工夫をしてい る	民家を改修したホームですが、リビングは大 きな窓付きで明るく、テーブルや椅子は利用 者が思い思いに使えるよう配置しています。 出窓には季節の生け花や観葉植物があり、窓 からは周辺の山並みが眺められ、季節を感じ ることができます。玄関やリビングの壁には 利用者やボランティアとの共同作品のタペス トリーや塗り絵が飾られ、温かな感じがしま す。玄関周辺には、すみれや桜草が沢山鉢植 えされています。廊下にはクッション付の椅 子があり、何時でも休めるようスペースが確 保されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、利用者の馴染みの家具や生活用品、衣料品を持ち込み、家族の写真や自身の作品を飾り、居心地の良い工夫をしています。テレビや観葉植物等のある部屋もあります。重度化した利用者には、体位変換と安定を保持するためのクッションを購入し、支援しています。濡れタオルや加湿器で湿度の調整も行っています。認知症の進行に伴う居住環境の整備も、家族と相談しながら利用者本位に適切に進めています。</p>		